

民主議員に“予算要望

知事 東京で説明会

2010年度政府予算に府関連の公共事業や施策の事業費を盛り込んでもらおうと、府は26日、府内を拠点とする民主党国会議員向けの説明会を東京で初めて開き、山田知事が事業の必要性などを訴えた。政権交代で政治主導を進める政府が省庁への陳情を認めない方針を示したため、これまで各省庁を行脚していた予算要望が様変わりした。ただ、出席を呼びかけた8人のうち前原国土交通相ら5人は公務で出席せず、山田知事らは終了後、議員を個別に訪ねるなど対応に追われた。

府は、政府予算の編成が大詰めを迎えるこの時期に合わせ、京都縦貫自動車道（縦貫道）の早期開通や医師臨床研修制度の見直し、中小企業への支援拡大など12項目の提言書を作成。同党が陳情の窓口とする府連には24日に提出したが、「府の声を直接聞いてもらいたい」と千代田区のホテルで説明会を開いた。

北神圭朗、平智之、小原舞



民主党の国会議員に府の施策を説明する山田知事（左端）（東京都千代田区で）

省庁陳情 禁止され 府内拠点の3氏出席

各議員が出席。府連会長の山井和則厚労事務官が開会中の国会の準備で急きよ欠席するなど、ほかの議員は姿を見せなかった。冒頭、山田知事があいさつしたあと、非公開で約2時間協議。終了後、北神議員は「府と連携し、党や政府に意見を出していきたい」と述べた。

このあと、山田知事らは前原国交相や福山哲郎外務副大臣、松井孝治官房副長官らと個別に面会し、縦貫道の必要性などを説明。同党に対しても同様の説明を行った。府関連の自民、公明両党の国会議員らも訪ねた。

山田知事は「民主党は陳情の窓口を一つとしているが、陳情する前提として共通の理解をもってもらえるよう、私たちの思いを伝えることに妨げはないはず。与野党関係なく、地方の声を反映させて良い国をつくるのが重要で、できる限り多くの人に説明したい」と話していた。